

TOKYO

TAKIKAWA

# 東京滝川会だより

## 第51号

平成22年2月発行

〈事務局〉

滝川市大町1丁目2番15号

滝川市経済部商工労働課

TEL 0125-23-2716 FAX 0125-23-5839

E-mail kougyou@city.takikawa.hokkaido.jp

URL http://www.city.takikawa.hokkaido.jp

### 東京滝川会総会を開催

東京滝川会の総会を平成二十一年一月二四日にアルカディア市ヶ谷で開催いたしました。総会には五十三名の会員、来賓の皆様が出席され、最初に六月三〇日に逝去された高宮行男名誉会長に黙祷を捧げました。その後、平成二十年度の事業報告・決算報告並びに、平成二十一年度事業計画（案）・予算（案）の審議を行い、また、新理事に瀬戸川信子氏を選任し、すべての議案が承認されました。

### 等ふるさと「たきかわ」サポーター 21年度東京滝川会



玉置副会長あいさつ

引き続き行われた懇親会では、欠席した大川会長に代わり玉置副会長が「滝川が生き延びるには発想の転換が

必要。変化に対応して頑張ってほしい」とあいさつし、地元を激励しました。

来賓の末松滝川市副市長からは地元企業の倒産など厳しい経済状況が報告された上で、「東京に来ると皆さんに元気を与えてもらえる」と感謝を述べられ、中田滝川市議会議長の乾杯により、なごやかなムードで懇親会が始まりました。



懇親会の模様

会場には田村滝川市長提供の金滴酒造の純米酒をはじめ、滝川産のりんごやトマトを使ったジュースなどが並びふるさとの味を堪能されました。

続いてショータイムとして「三つの輪セツケン」さんによる三味線漫談が行われ、軽妙な語り口と三味線に会場

から笑いが漏れていました。



三つの輪セツケンさんの三味線漫談

恒例のふるさと産品が当たるビンゴゲーム大会も行い、地元のお米や長芋などの農産品セットや松尾ジンギスカンギフトセット、はちみつ、ジャムセットなどたくさんのお景品を皆さんにお持ち帰りいただきました。

また、サッポロビールのご協力を頂き北海道ワインの抽選会も行いました。最後に増田副会長による結びのあいさつで閉会となり、参加記念品として滝川産ハルユタカ使用のラーメンと地元老舗ホテル三浦華園のごまドレッシング、江部乙産りんごをお土産にお持ち帰りました。



## 会員交流会を開催

平成二十一年一〇月三日・四日の両日、

代々木公園において会員交流会を開催しました。このイベントは(株)マツオが北海道フェア in 代々木に出店していることから、そのブースの一部をお借りして、ふるさとの味ジンギスカンを食べながら会員同士の交流や親睦を深めてもらおうと開催しています。



ふるさとの味を楽しんでいただきました

## 会員インタビュー

「会員の堀内俊一さんに

お話を伺いました」



交流会にも参加いただいた堀内さん

○ご出身と滝川との関わりについてお聞かせください

今は町名が変わってしまったようですが、滝川市西町出身です。生まれてから高校卒業まで滝川にいました。  
○滝川高校卒業後についてお聞かせください

四年間東京で学生生活を送りました。その後、北海道に戻り札幌で仕事に就き、室蘭、函館勤務を経て再度札幌に戻り、仕事をしていましたが、東京に転勤となり、現在は千葉で仕事をしております。

○現在のお仕事についてお聞かせくだ

さい

住宅設備機器など水まわり関連機器の商社に勤務しています。戸建て住宅に必要なものは木材以外ほとんど取り扱っています。

○こちらでお付き合いのある滝川関係の人はいらっしゃいますか

中学・高校時代の友人等何人かおります。

○滝川での思い出はなんですか

滝川スキー場や、北電スキー場、明神町公園でのスケートなどウィンタースポーツが盛んであり、学校を超えて友達ができたことや、滝川市の音楽水準の高さなど文化面でも高水準で盛んであったことです。中学（江陵中学がA編成・開西中学がB編成）高校（滝川高校がA編成、滝川工業がB編成）の部で地区大会を勝ち抜き、全道大会、全国大会へ駒を進めた程盛んであったと記憶しています。また、少年野球も盛んで各小学校対抗での大会もありましたし、当然、自然が豊富で石狩川や空知川での釣りなど、小学生のときは泥んこになって遊び歩いていたものです。今思えば、当時は治安の心配も無く、毎日のように夜遅くまで東西南北駆けまわっていた気がします。

○現在のお住まいはどちらですか  
千葉県柏市に住んでいます。

○ご親戚の方は滝川市にいらっしゃいますか  
姪がおります。

○仕事以外の趣味は

読書・旅行、街のぶらり散歩での新しい発見が好きですね。特に東京にいたときは、吉祥寺に歩いて散歩に行ける距離であった為、吉祥寺・三鷹、中央線沿線、山の手沿線など楽しんでいました。昨年柏市に越してきたばかりですので、千葉・茨城と今までに無い世界を楽しんでいます。特に房総はこれからの季節非常に楽しみです。

○滝川市のまちづくり及び産業振興にご意見をいただきたいのですか

滝川を離れてはや四〇年近い月日がたつてしまいました。しかし、故郷といえやはり滝川になりますし、幼少の頃の体験・記憶は明らかにそうであることを証明しています。「滝川」の名が全国的になって欲しいと思います。松尾ジンギスカンの名はますます有名になり、グライダーで滝川の名を知らしめ、丸加高原も有名になり、ますます、市街地が整備され住み良くなってきたのだらうと思います。ただ、

当日は増田副会長をはじめ約五〇名の会員の皆さんが家族や友人を連れて参加していただきました。

会場では北海道の農産物や海産物、特産品も販売され、皆さん北海道の味覚を堪能し交流を深めていました。



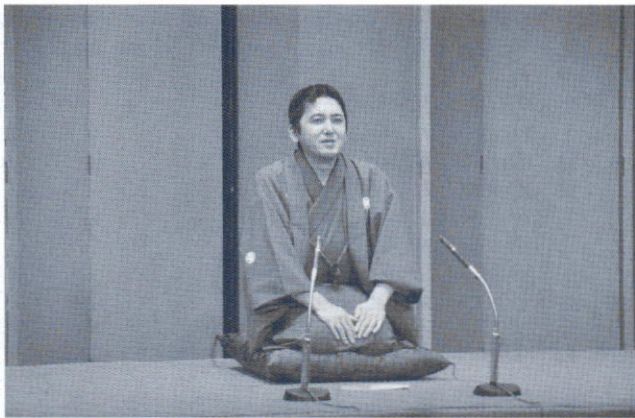
気になるのは夕張に端を発した地方の疲弊です。おそらく滝川もそうであろうと思います。かつての中空知の商業都市として、中核都市としての栄光を取り戻して欲しいと思います。ただ、今は商業都市としてより農業立国として立ち行ったほうがよいのではないかと思います。

首都圏に住んでいて、つくづく感じるのは「北海道」というブランドです。各デパートは「人を呼ぶために北海道物産展を開く」のはもう当たり前であり、期待以上に人が集まります。「滝川」をブランドに押し上げていくことが必要なのではないのでしょうか？では、何をもってそうしていくかが、今後の取り組み課題であると思うのです。幸いに農産物でかなり近いところまできているものがたくさんある様に思います。それをもっと、市やJAが一体になって全体でブランドに押し上げていく計画・立案をし、実践して行く事が必要だと感じます。

シャッター街を一掃し、活気のある街、中空知の中心的な役割を担う街、それが少しずつでもうまくいけば、滝川出身者としてこんなに嬉しいことはありません。

## 滝川出身の落語家・真打ちに

平成二十二年五月に真打ちに昇進した春風亭鯉枝（本名・渡利哲也）さんは、滝川出身の落語家です。平成七年に春風亭鯉昇（現・滝川鯉昇）さんに入門してから一四年。学校の授業や自動車教習所、動物病院など身近なテーマを盛り込んだ得意の新作落語を引つぎ、二月一九日には真打ちとして初めてふるさと滝川での独演会を行いました。



滝川で行われた独演会

### 「鯉枝さんにお話を伺いました」

滝川生まれで滝川育ちの私。落語家という職業から、子どものころから明

るくて、クラスの人気者だったと思われるでしょうが、目立たない地味な子どもでした。家が本町にあったので、友達といつも近所の滝川神社へ遊びに行き、裏の池で魚を釣ったり、草むらで虫を捕ったりしていました。ふるさとの印象的な風景ですね。

滝川西高等学校を卒業後、さまざまな職業を経験した私は、二六歳のときに落語家を目指して上京しました。当時、旭川の工場で働いていた私の人生を変えたのは、テレビで見た春風亭柳昇（平成一五年逝去）の落語でした。入門したい一心で、「春風亭柳昇」の名

前を電話帳で探したところ見当たらず、「とりあえず「春風亭」という名前なら、柳昇師匠に近づけるかもしれない」と電話帳を頼りに門をたたいたのが、私の師匠となった鯉昇のところでした。鯉昇は柳昇の弟子であり、私はあこがれの柳昇の孫弟子となったわけです。

「鯉枝」の名前も柳昇が付けてくれました。真打ちになると改名する落語家が多いのですが、私にとってはこの名前が一番なのです。

入門当時は、古いしきたりや厳しいしつけになかなか馴染めず、夢をあきらめようと思ったこともありましたが、

気がつけば真打ちとしてお客さんを楽しませることができるようになりました。落語には古典落語と新作落語がありますが、私はもっぱら新作落語に取り組み、これまで二〇の作品を作りました。滝川から東京に出てきた私自身を題材とした「おのぼりさん」という作品も得意ネタのひとつです。

滝川は私にとってホーム（本拠地）です。私の落語で皆さんにおおいに笑っていただきたいですし、その笑いがふるさとの元気につながればと思っています。

（広報たきかわ 平成二十二年一月号

より抜粋、加筆）

### ふるさと納税にご協力をお願いします

ふるさと納税制度とは、ふるさとを応援したいという気持ちを持たれている納税者が、応援の気持ちを「寄付金」という形であらわすものです。

（社）北海道倶楽部を通じて3万円以上の寄付をされると、5千円相当の道産品ギフトがもらえるキャンペーンも行っています。キャンペーンについての詳細は北海道倶楽部のホームページをご覧ください。（<http://www1.ocn.ne.jp/~h-c/>）

皆様の応援を心よりお待ちしております。

■詳しくは事務局にお問い合わせください。



# 全国大会最優秀賞

このほど東京都で開かれた「第七回高校生技術・アイデアコンテスト全国大会」において、滝川工業高等学校電子機械科三年生五名の製作したエアエンジンカー「Air Know IV（エアノウフォー）」が最優秀賞を受賞しました。

このエアエンジンカーの開発に携わったのは本摩亮太さん、秋元瑞樹さん、相馬良亮さん、高田凌さん、山田宏明さん。三年生になってから週に一度、課題研究の授業でエアエンジンカー（圧縮空気を原動力とするエンジンで走る車体）の製作に取り組んできました。

た。昨年春から設計を始め、本格的に製作に取り組み始めた夏休みごろからは、放課後や休日を返上して作業を進めてきたとのこと。エアエンジンカーは、もともと三年前の先輩が初めて取り組み、今回で四台目とのこと。

車両はまさに生徒たちのアイデアと、学校で学ぶ旋盤や溶接、機械加工、板金などの技術の結晶。自転車のパイプや車いすの車輪など廃材を利用した環境への配慮も高く評価され、昨年一〇月に札幌市で行われた「第一回ハンドメイドエコカーコンテスト」では見事総合優勝に輝きました。それぞれの力を結集し、すごいものを作れたと自負する生徒たち。後輩に

も頑張ってほしいし、中学生には工業高校で「ものづくりのおもしろさ」をぜひ知ってほしいです、と話していました。



エアエンジンカーを整備する生徒たち

## 東京滝川会役員名簿

| 役 職   | 氏 名     |
|-------|---------|
| 会 長   | 大 川 浩   |
| 副 会 長 | 玉 置 和 宏 |
| 副 会 長 | 増 田 聰 允 |
| 理 事   | 上 田 英 貴 |
| 理 事   | 栗 原 茂 実 |
| 理 事   | 今 野 利 春 |
| 理 事   | 瀬戸川 信 子 |
| 理 事   | 田 島 良 子 |
| 理 事   | 田 湯 智 康 |
| 理 事   | 照 井 進 一 |
| 理 事   | 中 野 鏡太郎 |
| 理 事   | 藤 澤 佳 子 |
| 理 事   | 本 田 征 子 |
| 理 事   | 前 郁 夫   |
| 理 事   | 前 田 博 夫 |
| 理 事   | 巻 口 道 則 |
| 理 事   | 松 本 守   |
| 理 事   | 溝 口 勲   |
| 監 事   | 菅 原 務   |
| 監 事   | 稲 垣 邦 夫 |
| 事務局 長 | 多 田 幸 秀 |
| 事務局次長 | 若 山 重 樹 |

（株）関東コーワ 相談役

大 川 浩

滝高卒 一期

神奈川県厚木市恩名五・五・三〇・六〇二  
TEL 〇四六・二五〇・七二五七

総合政策研究会 理事長  
毎日新聞社 特別顧問

玉 置 和 宏

滝高卒 三期

千葉県野田市春日町三九・一一  
TEL 〇四・七二九・七六四九

バベル翻訳大学院 教授

増 田 聰 允

滝西高卒 二期

東京都武蔵野市八幡町三・五・九  
クラルテ武蔵野七一〇号  
TEL 〇四二二・三七・六二六一

前 郁 夫

滝高卒 二期

東京都小平市花小金井五・一一・二